

大阪市立市岡東中学校

元気アップ便り

元気アップコーディネーター 千葉清二

こんにちは。小春日和の日があるかと思えば、師走らしい寒い日があり、体温調節が難しく風邪など体調管理に気を付けたい季節ですね。

さて、みなさんはテストをきちんと整理していますか？出題者は重要で身に付けてほしい、というところを出題するわけですので、出題内容をしっかり理解しなければなりません。入試も含め実力テストなど将来的にも出題されるでしょう。点数など結果だけでなく、保存して何回も見直して自分の反省材料として、今後に活かしましょう。たとえば、先日実施された、大阪市の統一テストの国語の問題に角川書店発行、稲垣栄洋著「蝶々はなぜ菜の葉にとまる」から竹と笹の違いについての一節が出題されました。文部科学省の問題には新美南吉の「おじいさんのランプ」が出題されました。前述のように出題者はあなたがたに「ぜひ読んでほしい」という意図もあります。私もさっそく本屋で購入しました。とてもおもしろいので、学校図書館にも購入をお願いしました。少し内容を紹介しますと、童謡『ちょうちょう ちょうちょう 菜の葉にとまれ 菜の葉があいたら 桜にとまれ』についての一節では、私自身も「ちょっと変な歌詞だなあ」と疑問に思っていたことに対して、見事に解決されていました。ちょうちょうが菜の「花」でなく、菜の「葉」にとまるのは、産卵のためで疑問はないのですが、「桜の花にはあまり行かないけどなあ～なぜこんな歌詞にしたのかなあ」と疑問でした。以下はこの本からの引用ですが、尾張地方のわらべ唄から、野村秋足という人が引用し、そこに日本の春のシンボルの桜を詠みこんだからです。しかも「桜の花のさかゆる御代に」と日本を称える歌詞でした。しかし、戦後、国家主義を排除する意図から、「桜の花の 花から花へ」と書き換えられたからだとされ、さらに疑問点を追及していきます。農学博士らしい内容で少しグレードが高いかもしれませんが、とてもおもしろくお勧めの本ですよ。

来週いよいよ、懇談が始まります。テストが終わっても気を抜かないで、有意義な学校生活が送れるように懇談を活かしてください。とくに3年生は進路決定の懇談となります。可能性のある限り、あきらめしないで努力しましょう。継続は力なりです。きっと努力は報われますよ。

2、3年生の学習のお手伝いのために「放課後元気アップ学習会」や冬休み学習会も実施しますので、ぜひ参加しましょう。冬休みの日程はおよび申込書は、まもなく予定を配布しますのでご覧ください。

学習ボランティア募集について

放課後や冬休み、春休みなどの学習指導するボランティアを募集していますので、希望される先輩や知人をご存知の方は、市岡東中学校（TEL 06-6582-8580）の千葉、または教頭の寺井までご連絡ください。主として木曜日の午後にご連絡いただけると幸いです。